「水かけ祭り」西橋弘氏撮影（神戸市）

27. 事代主神社　水かけ祭り
所在地：淡路市仮屋
漁港の守り神である事代主神社。豊漁祈願の水かけ祭りでは、中学生が神輿を担いで水を浴びせられながら練り歩き、最後は海へ飛び込みます。
○ ○ ● ○ 通年

28. 仮屋漁港
所在地：淡路市仮屋
旧東浦町の中心的な漁港として古くから栄えてきました。現在も淡路島屈指の漁港で、早朝には漁船が出港する音が聞こえます。
○ ○ ○ ● 通年

出典：(一財)淡路島くにうみ協会

29. パルシェ香りの館
所在地：淡路市尾崎
地場産業「線香づくり」が盛んな旧一宮町にある、香りのテーマパークです。ハーブを使ったクラフトや香りの温泉などが楽しめます。
○ ○ ○ ● 通年　観75

「東山寺寸景」村上利明氏撮影（南あわじ市）

30. 東山寺
所在地：淡路市長澤
弘法大師が開祖した古刹で、室町時代に造られた山門は淡路島最古の木造建築物とされています。秋の参道を彩る紅葉は見事です。
● ● ○ ○ 秋　観17

「春の訪れ」石上康敬氏撮影（淡路市）

31. 東山寺山系の山桜
所在地：淡路市尾崎
東山寺が鎮座する東山寺山系には、多くの山桜が自生しています。春、山桜が満開になると東山寺山系全体が淡いピンク色に染まります。
● ○ ○ ○ 春　観17

出典：(一社)淡路島観光協会

32. 御井の清水
所在地：淡路市佐野
古事記に記された天皇の御料水「淡道島の寒泉」と伝えられる御井の清水。現在も清水が湧き出て、古代の名水を味わうことができます。
● ● ○ ○ 通年

出典：(一社)淡路島観光協会

33. 円城寺
所在地：淡路市佐野
二躯の秘佛聖観世音菩薩（県指定重要有形文化財）が本尊として祀られています。また、桜やツツジの名所としても知られています。
● ● ○ ○ 春

出典：(一社)淡路島観光協会

34. あわじ花の歳時記園
所在地：淡路市長澤
棚田だった3,000坪の土地を活用した花園です。毎年５月～７月には、約70種類3,500株のあじさいが咲き乱れ、園内を彩ります。
○ ○ ○ ● 夏

35. 淡路七福神　八浄寺
所在地：淡路市佐野
淡路島の風土の中で素朴で厚い信仰を集めてきた淡路七福神霊場の総本山である八浄寺。淡路島の奇祭「回り弁天」発祥の寺でもあります。
○ ○ ● ○ 通年　観

「夕刻の釣り人」石上康敬氏撮影（淡路市）

36. 多賀の浜
所在地：淡路市多賀
遠浅の海と美しい砂浜が広がる多賀の浜。夏の海水浴だけでなく、播磨灘に沈む夕日を眺めながらの散策にも最適です。
● ○ ○ ● 夏

出典：(一社)淡路島観光協会

37. 兵庫県立佐野運動公園
所在地：淡路市佐野
地域の運動施設の拠点として平成15年に開園しました。全国大会規模の野球場やサッカー場など、大規模なスポーツ施設が充実しています。
○ ○ ○ ● 通年　観18

38. 伊弉諾神宮と夫婦クス
所在地：淡路市多賀
古事記・日本書紀に記載された国生み神話ゆかりの神社です。境内には、夫婦円満の御神木、樹齢約900年の夫婦クスもあります。
● ● ○ ○ 通年　観72

「早春を演出　水仙の丘」井上善人氏撮影（淡路市）

39. 淡路文化会館 水仙の丘
所在地：淡路市多賀
水仙の丘は、淡路文化会館近くの丘陵地にあります。３月には、約40haに植えられた10万本ものスイセンが咲き誇り、春の訪れを感じさせます。
● ○ ○ ○ 春

40. 淡路市立香りの公園
所在地：淡路市多賀
淡路市は、伝統産業の線香など、香りの景観が多彩な地域です。公園では、ハーブをはじめ、四季を通じて自然の優しい香りを満喫できます。
○ ○ ○ ● 通年　観71

出典：兵庫県立津名高等学校

41. 番城が丘に甦びゆる津名高等学校
所在地：淡路市志筑
90年以上の伝統と歴史を有する学校で、五角形の地中海風のモダンな校舎など、地域のランドマークとして親しまれています。
○ ○ ● ● 通年

出典：(一社)淡路島観光協会

42. 静の里公園
所在地：淡路市志筑
淡路市は、源義経の妻、静御前ゆかりの地です。園内では、静御前を弔うように桜や菖蒲が咲き、あわじ花へんろ第16番札所に数えられています。
○ ○ ○ ● 通年　観19

出典：淡路市

43. メガワットソーラー発電施設
所在地：淡路市生穂新島
あわじ環境未来島構想の先導モデルとして平成22年に整備されました。その発電量は、最大１メガワットに達します。
○ ○ ○ ● 通年

44. しづかホール
所在地：淡路市志筑新島
静御前ゆかりの地にあるしづかホールは、舞の名手、静御前の扇をイメージしています。ホールは、音楽会など、発表の場として利用されています。
○ ○ ● ○ 通年

出典：(一社)淡路島観光協会

45. 伊勢の森神社　梯子獅子
所在地：淡路市中田
伊勢の森神社では、毎年４月上旬に春祭りが開催されます。境内で獅子舞が披露された後、梯子に張られた綱を獅子が渡る「梯子獅子」が行われます。
○ ○ ● ○ 春

「島の遊園地」谷和樹氏撮影（淡路市）

46. 淡路ワールドパークONOKORO
所在地：淡路市塩田新島
世界文化遺産など各国の有名建築物を1/25サイズで再現したミニチュアワールドや大観覧車など、島内で人気を集めるテーマパークです。
○ ○ ○ ● 通年　観22

「早苗田夕景」山本喜一撮影（淡路市）

47. 大町地区の田園景観
所在地：淡路市大町下、木曽下
大町地区は、淡路島山間部にある農業が盛んな地域です。代掻きが始まる５月頃をはじめ、朝日や夕日に色づく様々な田園景観が望めます。
○ ○ ● ○ 通年

48. 岩上神社を中心とした巨石信仰
所在地：淡路市柳沢
境内には、高さ12m、周囲16mもある巨石「神籬岩（ひもろぎ）」があり、巨石信仰の象徴として、昔から地域の方に親しまれてきました。
○ ● ● ○ 通年

「島の夕景」松崎純治氏撮影（尼崎市）

49. 播磨灘に落ち込む淡路西浦の風景
所在地：淡路市深草
淡路島の西海岸は、西浦と呼ばれ、播磨灘へ落ち込むようにのびる丘陵地のなか、淡路瓦葺きの昔ながらの民家が点在する景観が望めます。
● ○ ● ○ 通年

出典：兵庫県

50. 塩田地区の町並み
所在地：淡路市塩尾
塩田地区は、古くから漁業と共に発展してきた漁村。後背にある高台からは、淡路瓦の甍の波、大阪湾、丘陵地が一体となった景観を望めます。
● ○ ● ● 通年

出典：国営明石海峡公園

51. 下司大名行列
所在地：淡路市里
下司大名行列は、参勤交代の礼法所作をまね、江戸時代に始められた祭礼です。市重要文化財として、下司大名行列保存会が伝承しています。
○ ● ○ ○ 春

「大阪湾の朝」山本喜一氏撮影（淡路市）

52. 高倉山山頂からの眺望
所在地：淡路市木曽上畑
高倉山は、標高266mの山。山頂にある高倉神社からは、大阪湾や播磨灘を一望でき、特に日の出に色づく大阪湾は非常に美しい景観です。
● ○ ○ ○ 通年

出典：(一社)淡路島観光協会

53. 淡路七福神　宝生寺
所在地：淡路市里
七福神「寿老人」を祀る宝寺は、淡路島の風土のなか、今もなお厚い信仰を集める七福神信仰の一寺として、多くの参拝客が訪れています。
○ ● ○ ○ 通年　観

出典：(一財)淡路島くにうみ協会

82. 淡路ファームパーク・イングランドの丘
所在地：南あわじ市八木養宜中
イギリスの田園をイメージしたテーマパーク。三原平野の広大な敷地で、淡路島の歴史や農業、動物とのふれあいなどの体験型観光を楽しめます。
○ ○ ○ ● 通年　観35

「（だんじりまつり）風に向かって」向泉氏撮影（南あわじ市）

83. 淡路だんじり祭
所在地：南あわじ市市青木
南あわじ市内の各地区から約30台のだんじりが集結するお祭りです。布団だんじり・投げだんじりが共演し、練りの見せ場を演出します。
○ ○ ● ○ 春

「淳仁天皇陵」中島輝子氏撮影（神戸市）

84. 淳仁天皇陵
所在地：南あわじ市賀集
皇位をめぐる争いから淡路島へ流され33歳の若さで亡くなった淳仁天皇の陵墓。平坦な三原平野にあって常緑広葉樹が茂る緑の丘となっています。
○ ● ○ ○ 通年　観44

「春色のシャワー」新福功氏撮影（淡路市）

85. 八木馬廻地区のしだれ梅
所在地：南あわじ市八木馬廻
個人邸にあり、樹齢は60年で、２月に見ごろを迎えます。早春を感じることができる素晴らしい景観で、夜にはライトアップもされています。
● ○ ● ○ 春

86. 上田池ダム石積み式堤体
所在地：南あわじ市神代社家
我が国最大の堤高規模を持ち、全国で10件しかない戦前の農業用重力式コンクリートダムです。淡路島の近代土木技術の発達を物語っています。
○ ○ ● ○ 通年

87. 諭鶴羽山、諭鶴羽神社と諭鶴羽ダム
所在地：南あわじ市神代浦壁
淡路島で最も高い山・諭鶴羽山。山頂には約二千年前の創建とされる諭鶴羽神社が鎮座し、山の北にある諭鶴羽ダムは桜の名所としても有名です。
● ● ● ● 通年　観41

「うららかな日」奥田晃介氏撮影（京都府）

88. 灘来川地区から望む沼島と海岸線
所在地：南あわじ市灘来川
灘来川地区から灘港へ向かう県道76号線をドライブすれば、諭鶴羽山、紀伊水道、沼島の海と山が一体となった雄大な景観を望むことができます。
● ○ ○ ○ 通年

「黒岩水仙郷」石川栄一氏撮影（洲本市）

89. 灘黒岩水仙郷
所在地：南あわじ市灘黒岩
付近に住む漁師が漂着した球根を山に植えたのがはじまりと伝えられる水仙郷。現在では約500万本のスイセンが咲き誇ります。
● ○ ○ ○ 冬　観42

出典：(一社)淡路島観光協会

90. うずしおの郷
所在地：南あわじ市福良
福良地区につくられた新しい観光スポット。総合観光施設「うずしおドームなないろ館」のほか各種施設があり、花の名所にもなっています。
○ ○ ○ ● 通年

「伝承 あわじ」つじもとかずこ氏撮影（京都府）

91. 淡路人形浄瑠璃館（人形座）
所在地：南あわじ市福良
約500年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財に指定されている淡路人形芝居を上演する施設。淡路島の伝統芸能を伝える拠点となっています。
○ ○ ● ○ 通年　観59

出典：南あわじ市

92. ちりめんロード
所在地：南あわじ市福良
秋の福良湾沿いは「ちりめんロード」と呼ばれ、水揚げされ、釜で茹で上げ天日干しされている沢山のシラスが道の両端に並びます。
○ ○ ● ○ 春

「ｼﾙｷｰｻﾝｾｯﾄ大園島」森崎好美氏撮影（南あわじ市）

93. 福良湾、煙島、大園島の展望
所在地：南あわじ市福良
福良湾は古くから徳島との往来で栄えた港であり、また平家ゆかりの煙島や大園島とともに景勝地として親しまれ、南淡八景にも選ばれています。
● ● ○ ● 通年

「大鳴門橋」武田照美氏撮影（洲本市）

94. 大鳴門橋と鳴門海峡の展望
所在地：南あわじ市福良丙
潮の満ち干による海水の移動や複雑な地形から発生する「鳴門の渦潮」と「大鳴門橋」が、雄大な景観をつくり出しています。
● ○ ○ ● 通年

出典：(一社)淡路島観光協会

95. 淡路じゃのひれフィッシングパーク
所在地：南あわじ市阿万塩屋町
目の前は福良湾、大見山の麓にある自然豊かな総合アウトドアリゾート施設。家族連れでも安心してアウトドアを満喫できる場となっています。
○ ○ ○ ● 通年　観48

出典：淡路地域ビジョンNET

96. 若人の広場
所在地：南あわじ市阿万塩屋町
太平洋戦争戦没学徒を追悼し平和を祈念する施設で、丹下健三氏設計の慰霊塔が有名です。現在は整備中で立入禁止ですが、2015年再開予定です。
○ ○ ○ ● 通年

「波音の浜辺」井上淳一氏撮影（南あわじ市）

97. 吹上浜
所在地：南あわじ市阿万吹上町
南に紀伊水道、西に鳴門海峡を望む海岸で、貴重な植物、水生生物、鳥類などの生息場所になっており、浜の西部には、松林が約２km続いています。
● ○ ○ ○ 通年

出典：(一社)淡路島観光協会

98. 阿万海水浴場とウミホタル
所在地：南あわじ市阿万西町
日本でも数少ないウミホタルの生息地の一つです。ウミホタルの群れが波間に青白く光る様子は、夏の夜にしか見られない幻想的な景観です。
● ○ ○ ○ 夏

99. 沼島地区の自然と一体となった町並み
所在地：南あわじ市沼島
沼島は古代より巧みな海運技術を活かし、廻船業や漁業で栄えました。現在も路地の多くが浜を向いている漁村集落の町並みをよく残しています。
● ○ ● ○ 通年　観45

「上立神岩」川添卓也氏撮影（洲本市）

100. 上立神岩と裏海岸
所在地：南あわじ市沼島
奇岩や岩礁の豊かな自然景観を有する沼島。その裏海岸にある上立神岩は沼島の地質をよく表し、国生み神話の象徴として親しまれてきました。
● ○ ○ ○ 通年　観45

このシートの見方

出典：(一財)淡路島くにうみ協会

74. 鮎屋の滝と源氏ホタル
所在地：洲本市鮎屋
鮎屋川にかかる霊験の場として崇められてきた鮎屋の滝。その落差は14.5mと淡路島随一で、夏には淡路島を代表する源氏ホタルの名所となります。
● ○ ○ ○ 夏　観30

- 「淡路島百景」としての名称を記しています。
- 景観が見られる場所を記しています。
- 景観の概要を紹介しています。
- 淡路島の主要な観光施設等で、(一社)淡路島観光協会発行の「淡路島おもしろマップ」に掲載されている施設番号を示しています。
- 景観を特に楽しめる季節を紹介しています。

※注
（一財）：一般財団法人
（一社）：一般社団法人

景観の写真を掲載しています。なかには、淡路島景観フォトコンテスト応募作品を掲載させていただいているものもあります。

淡路島の景観の特徴は、次の４つに区分できます。
この区分に基づいて、各景観が有する特徴を青丸で示しています。

【淡路島の景観　４つの特徴】
例えば、「74. 鮎屋の滝と源氏ホタル」の景観の特徴は、「自然がつくりだす景観」です。

- 特徴１ 自然がつくりだす景観
- 特徴２ 歴史がつくりだす景観
- 特徴３ 生活・文化がつくりだす景観
- 特徴４ 新しくつくりだす景観